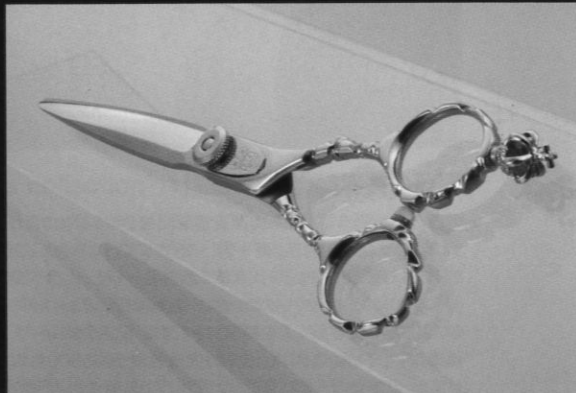


m  
r

marketing report

## センスを鍛える未来情報

美容師の命、相棒とも  
いわれるシザーズ。  
毎日使うものだから、使用感は、  
欠かすことができない条件だ。  
ところが、多くの女性スタイリストは、  
シザーズが大きすぎて、  
握りづらい、フィットしない、  
そんな悩みを抱えていた。  
このような状況を打開すべく、  
「女性用のシザーズ」が登場した。

女性スタイリストのための  
最高に持ちやすいシザーズ

男性と女性。その指の長さ、手の平のサイズ違いは明確なのに、美容シザーズは男性を基準につくられていることをご存じだろうか。洋服、靴……、世の中のさまざまなものが男性用、女性用と分別されている時代に、美容シザーズはなぜかユニセックス(男女兼用)なのだ。このような状況に着目したのが、シザーズメーカー、ロイヤルマスターシザーズ(株)の田中邦彦社長。同社では、一昨年前より、女性用シザーズ『プリンセスマスター』を開発、販売を行なっている。

開発のいきさつについて田中社長は次のように語る。「美容シザーズはこれまで、プラントカット用、セニング用など、カット方法に合わせた開発が中心でした。そのような中、女性スタイリストの間では、自分の手に対してシザーズが大きすぎるため、手に負担がかかってけんしょう炎になったり、コームワークが自由に行なえなかったり……とシザーズの使用感について悲痛な声が上がっていました。また、女性は親指が短く開閉の幅が男性よりも狭いため、シザーズをオープンしたときに、親指が抜ける『指抜け』現象が起きます。そのため女性美容師には、メガネタイプではなく、オフセット(段違い)を勧めていました。このような女性スタイリストにとって不自由な環境を変えたかったのです」

100人以上の女性スタイリストの手を計測し、繰り返し研究・改良を行ないつくり上げた『プリンセスマスター』。その特長は、ハンドルの長さが短いこと。当然、中央のネジから人指し指の距離が短いほど、ぶれないホールドが可能になる。しかし、田中氏は、計測を行なっていくうちに、従来品ではその距離が女性にとって長すぎるため、カットの際に、シザーズがぶれやすいことに気付いた。そこで、ハンドル寸法を短くし、開閉時の安定度を高めた。また、指環を小さくし、スパンサーリングなしでもしっかり指が固定できるようになっている。

カット技術に伴い、開発がすすめられてきたシザーズ。その中で埋もれていたニーズが今、顕在化し、新たな開発につながっているようだ。

写真:『プリンセスマスター-MM57』。王冠をモチーフにした小指かけは標準装備。  
デザイン性だけでなく、フィット感が向上し、ホールド時の安定感がアップする。

お問い合わせ先: ロイヤルマスターシザーズ(株) Tel.06.4704.0923